

伊勢志摩旅行

塚田 實

二月中旬、伊勢志摩に旅行した。天気予報は旅行期間中ずっと雨だった。案の定名古屋から近鉄特急で志摩に向かうと、途中の津や松阪辺りでは土砂降りだったが、賢島が近づくと不思議に晴れてきた。

賢島手前の鵜方駅うがたで降りてレンタカーをし、「伊勢志摩観光ホテル・ザクラシック」に向かう。ここは二〇一六年にG7サミットが開催されたところだ。

夕食前に英虞湾あごわんサンセットクルーズに乗った。晴れ上がった湾内を、真珠養殖いかなの間をぬいながら、小型船で約一時間走る。海からは御木本幸吉の住居や迎賓館が見える。陽が沈みかけると、水平線は茜色に染まり、期待通りの見事なサンセットを楽しめた。

翌日はホテル内のG7所縁の会場を巡るサミットツアーに参加した後、ドライブして、的矢湾の「かきテラス」で生牡蠣や蒸し牡蠣など牡蠣料理を堪能。次は天岩戸あまのいわと經由で二見浦夫婦岩を訪れた。小学校の修学旅行で訪問したことがあるので、六十五年振りの訪問だ。今年は今婚式の年なので夫婦岩を夫婦で感慨深く眺めた。

雨が強くなってきたので、急いで伊勢神宮内宮近くの宿に向かう。

前日夕方からの大雨は、朝にはからっと晴れた。

朝一番に内宮に向かう。雨上がりの内宮は凜とした空気に包まれ、陽の明かりも木々の間から差し込み、厳肅な気分でお参りが出来た。外宮にもお参りし、猿田彦神社や佐瑠女神社さるめにも詣でた。猿田彦大神はアマテラスの孫瓊瓊杵尊ににぎのひこの天孫降臨の際、地上に案内した神で、「みちひらき大神」と言われている。佐瑠女神社にはアマテラスが岩屋に隠れたとき、その前で踊り岩屋を開けさせた天鈿女命あめのいすめのみことを祭っている。

お参りを済ませた後は、おはらい町やおかげ横丁を散策した。

帰りは、名古屋に一泊して、熱田神宮を訪問。玉砂利を踏む音の響く中、本殿に参拝した。神宮は三種の神器の一つ草薙剣を納めている。参拝後、一の鳥居の前にあるひつまぶしで有名な「あつた蓬菜軒神宮店」で、鰻会席を日本酒「草薙」とともに楽しんだ。